

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

東京交響楽団 土屋杏子さん(第1ヴァイオリン奏者)

皆さんこんにちは。東京交響楽団ヴァイオリン奏者の土屋杏子です。

私は自粛の期間、普段よりちょっと早起きをして、家事をして、ヴァイオリンを練習して、たくさん食べて、本を読んで、よく寝るというふうにゆったり過ごしています。子どもの頃は、3歳のときにヴァイオリンを始めてから毎日ヴァイオリンを練習するっていうことを続けていたんですけど、それと同時に結構活発なタイプで、木を登ったりしていたし、走っていたし、スイミングに行ったり、合気道を習っていたり、結構体を動かすのも大好きなタイプでした。友達とも学校の授業の合間とか、放課後、学校の授業が始まる前の朝の時間とか、たくさん走り回って遊んだなって、すごく楽しかったなって、そういう思い出がたくさんあります。

私が頑張ってきたって思えることは、やっぱりヴァイオリンの練習を毎日してきたということです。ヴァイオリンは私もともと好きで始めたので弾くことはずっと好きだし、これから先もずっとヴァイオリン弾いていきたいなって思っているんですけど、それだけ好きなことでも毎日毎日毎日毎日毎日ってなると、時にはもう今日は休みたいとか、今日はヴァイオリンを弾くより別のことをして遊びたいなって思うことってありました。

だけど、とにかく毎日練習してなんとか上手になろうっていうことを自分で決めていたので、それだけは欠かさずに頑張りました。

失敗談なんですけど、私は子どもの頃、不器用なタイプで何かと時間がかかるタイプだったんです。なので、やることなすことを人並みにやるには、人の2倍ぐらいは努力しないと追いつかないなと感じていて、なのでとにかく、みんなと同じくらいにできるようになるには人よりたくさん努力しないと、練習したり頑張らなきゃなと思っていました。なので、私はそういうちょっと鈍いタイプと思いながら、でもたくさん失敗を重ねていたんですけど、そうやって人よりも努力しなきゃ私は追いつけないと思っていたのが、染み込みすぎまして、特にヴァイオリンなんかもそうなんですけど、人より倍は練習しないと上手になれないなと思っていたので、一生懸命練習して続けていたら、気がついたらヴァイオリンが私の特技になっていました。

失敗を乗り越えるためにとか、人より上手になろうっていうよりも、まず人並みに追いつかなきゃっていうふうに頑張っていたら、その努力することとか、たくさん練習すること、そしてヴァイオリンを弾くこと、それが私の強みになっていました。

つらいことがあった時、どうやって乗り越えるかなんですけど、私は自分の機嫌をまず良い方向に持っていきこうとします。3つポイントがあって、私の場合は1つ目は好きな曲を聴くこと。音楽に助けてもらいます。特にお勧めなのは、メンデルスゾーンの弦楽八重奏曲、おすすめです。元気になる。そして、2つ目は私食べるのが大好きなので、美味しいものを食べる、つらいときは食欲がなくなったりするけど、その時でもこれなら食べようかなって思える好きな物

を見つけておくと、とてもいいと思います。後はとにかく一旦休む、寝る、これも結構助けられると思います。つらい時って、その時はもうどうしたらいいか分かんなくなっちゃったりするけど、ちょっと時間をおいて、本当は自分はどうしたかったんだっけなとか、どういうふうに分はしたいのかを落ち着いて考えられるようになってきます。

そうすると解決の光が自然と見えてくると思います。

未来に向かって子どもたちへメッセージを送ります。普段はみんなで学校に集まって、みんなと同じ空間で一緒に過ごしてお互い影響し合いながら、そこから学ぶことが多いですね。だけど今それぞれお家で過ごしている時間だから、お家によって環境や生活に結構違いがあるんじゃないかなと思います。それって大変なこともあると思うけど、自分にしかできないこととか、自分のカラーを磨き上げるチャンスでもあるかなと思います。次に学校で友達たちと再会する時に、それぞれが自分のカラーを持ち寄れるといいですね。とにかく、みんな健康に学校での活動が再開できるように願っています。

私は川崎の子どもたちを応援しています。